5

地域を愛し地域から愛される学校を目指して
～地域活性化活動を核とした学校づくり～

愛媛県立今治北高等学校大三島分校　教務主任　吉住　牧人

1　大三島分校を取り巻く現状

大三島は少子高齢化が進行し若者の数が急速に減少している。現在、島内の人口は６０００人ほどであるが、その約半数が65歳以上の高齢者である。また、75歳以上の後期高齢者の割合も約30％と極めて高い。本校を取り巻く現状も極めて厳しく、島外生徒の受け入れも積極的に行っているものの、ここ2年間愛媛県の再編整備基準となる入学者数31名を下回り、募集停止の危機にある。

2　地域活性化に向けたこれまでの取組

高校生の手で地域を盛り上げていくため、本校では各種団体等と協力しながらこれまでに以下のような活動を行ってきた。

(1)大山祇神社参道のボランティアガイド

平成25年度に本校が実施した「地域活性化プロジェクト」の一環として始めた活動である。聞き取り調査やガイド活動を通して大三島の魅力を再発見しそれらを多くの人に知ってもらうことを目標の一つに掲げている。

参道ボランティアガイドの様子

(2)伊東建築塾との協働「島デザイン部」

本校は世界的建築家の伊東豊雄氏が塾長を務める伊東建築塾と協力しながら、様々な地域活性化活動を行っている。昨年度は、公民館のめがね椅子改修をしたり、旧小学校の校舎を宿泊施設として利用するためのリノベーションを行ったりした。伊東建築塾主催のイベントや学習会にも生徒が積極的に参加している。

旧小学校舎のリノベーションに参加

(3)瀬戸内島しょ部高校との意見交換会や地域PRイベントの創出

平成26年度から、瀬戸内島しょ部の愛媛県と広島県の高校が集まり、地域活性化についての意見交換会を行っている。今年度は広島から4校と愛媛から4校の計8校が集まり、道の駅多々羅しまなみ公園で高校生による地域ＰＲイベントを開催した。このイベントでは、伊東豊雄氏と島しょ部高校生との地域活性化に関するトークセッションも併せて行われた。

瀬戸内海島しょ部地域PRイベントでのトークセッション

(4)地域おこしイベントの創出

大三島に活気が溢れていた時代の夜市を復活させ、大山祇神社参道に賑わいを取り戻そうと、地域の方々と協力して8月25日(土)に「夕涼み会」を開催し、地域の方々から好評を得た。

「夕涼み会」の屋台で分校生もお手伝い

(5)大三島紹介パンフレット「私たちの大三島」の作成とPR活動

島の魅力を多くの人にＰＲするとともに、生徒の地域活性化への意識を向上

地域づくりと人づくりを押し上げる「高校」
～“魅力を発信”地域の中心に高校がある～

させることなどを目的として、高校生目線で島の魅力を紹介したA５版64ページのパンフレット「私たちの大三島～高校生が伝える大三島の魅力～」を作成した。完成したパンフレットは島内外の各所に配架させていただいたり、高校生自らが配布しながら大三島のPR活動を行ったりしている。

東京の移住・交流ガーデンの職員の方にパンフレットを手渡ししている様子

3　次年度における取組の計画

本校ではこれまでの取組の成果や課題を踏まえて、次年度以降は以下のような活動を計画している

(1)「大三島お仕事図鑑（仮称）」の作成と移住者への情報提供

伊東建築塾や商工会、各事業所等の協力の下、島内の職業についての調査・研究を行い、A４版32ページ程度のパンフレットを作成する予定である。大三島の職業に対する取材、調査及び移住者への情報提供を通して、大三島への移住者の増加を図るとともに、生徒自身が大三島における雇用や産業の現状に明るい展望を感じ取り、将来大三島に定住したいと考えられる人材を少しでも増やしたいと考えている。

「私たちの大三島」の一部

(2)「高校生大三島定住促進アンバサダー」の育成

島の定住人口を増やすために、大三島の魅力や仕事などについて島内外の各所でPR活動を行うことを想定した広報大使「高校生大三島定住促進アンバサダー」を育成したいと考えている。東京、大阪で開催されている移住フェアにおいても、「私たちの大三島」や「大三島お仕事図鑑」等のパンフレットを用いて、移住希望者に対する大三島の仕事や魅力などの情報発信を始めとする積極的な働きかけを行いたい。また、将来的には、今治市の地域振興課、観光課等と連携して大三島移住促進ツアー等を企画、立案するとともに、島を訪れてくださった方々のエスコートも担当したいと考えている。

4　これまでの活動の総括と今後の展望

本校では、これまで観光客の増加とそれに伴う産業の創出や雇用の拡大をねらいとして、様々な地域活性化活動を行ってきた。これらの活動は大三島分校の特色ある教育活動の柱の一つであり、高校生が元気に活動して地域を盛り上げていることを様々な方面から評価していただいている。また、地域活性化活動に自主的、積極的に関わる生徒の姿からは、地域に対する愛着や、自分たちの大切な大三島を自分たちの手で何とか盛り上げていきたいという強い気持ちが見て取れる。地域の方の学校存続を望む声も多く聞かれ、島に唯一の県立高校として70年間にわたって地域に愛されてきた学校の存在価値は大きいと確信している。これらの取組が学校の存続につながり、さらには愛媛県における地域活性化のモデルとなれるよう、今後も地域と協力しながら精一杯の努力を行っていきたい。